

平成 29 年 11 月 22 日
国土交通省 関東地方整備局
関東運輸局

記者発表資料

～京浜港物流高度化推進協議会～

「第13回物流効率化に関する荷主意見交換会」を開催しました

京浜港物流高度化推進協議会(委員長:中田信哉神奈川大学名誉教授、事務局:関東地方整備局、関東運輸局)は、学識経験者及び京浜港に関係する事業者団体、行政の関係者等により構成し、京浜港の競争力強化や背後圏での物流の高度化に向けた課題解決を図るための様々な取組を行っています。

同協議会では、活動の一環として、京浜港の利便性を高める取組を効果的に進めるべく、国際海上コンテナ輸送を利用する荷主企業との意見交換会を平成 19 年より毎年実施してきております。

この度、11月2日(木)に、荷主企業 10 社にご参加いただき、第13回目となる意見交換会を開催いたしました。当日は、海上から横浜港の見学会の後、港湾物流の効率化などをテーマに意見交換会を行い、ユーザー視点から貴重なご意見をいただきました。意見交換会の詳細については別添をご覧ください。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ・物流専門紙・その他専門紙

問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室
室長 今野 頼夫 (こんの よりお)
専門官 亀山 孝子 (かめやま たかこ)
電話 045-211-7437 FAX 045-211-0204

京浜港物流高度化推進協議会
「第13回物流効率化に関する荷主意見交換会」開催結果

■開催日時 平成29年11月2日(木) 13:45~17:30

■開催場所 第1部 港湾視察 (13:45~15:30)

(海上より 横浜港を視察)

第2部 意見交換会 (16:00~17:30)

会場:横浜第2合同庁舎141会議室

■参加企業 (※五十音順)

いすゞライネックス(株)、(株)イトーヨーカ堂、キヤノン(株)、(株)クボタ、
コマツ、東芝ロジスティクス(株)、(株)日立物流、日産自動車(株)、
日清物流(株)、(株)ニトリ 計10社

第1部 横浜港港湾視察の様子

関東地方整備局所有船「たかしまⅡ」に乗船して横浜港を視察しました。

大さん橋、本牧ふ頭、南本牧ふ頭、大黒ふ頭をまわり、自動車運搬船、コンテナ船など、多くの船舶が頻繁に行き交う様子をご覧いただきました。南本牧ふ頭では、現在関東地方整備局にて整備中のMC-4や、MC-3でのコンテナ物流の生産性向上に関する取組についてご説明致しました。



【船内での説明の様子】

第2部 意見交換会

■議事

- (1) 京浜港の情勢について
- (2) 物流効率化に向けた取組
- (3) 意見交換

■主な意見

- ・ 中長期的な意見として、物流の効率化を推進するにあたって、官民、関係省庁間情報連携のシステム化促進をお願いしたい。
- ・ 輸出入に係る物流コストの中で国内輸送費の割合が大きくなっている。国内の物流効率化、コスト削減がテーマである。
- ・ ラウンドユース等の取組に対して交通費(高速道路料金)を支援するなどの優遇措置を検討していただけないか。
- ・ 岸壁の整備だけでなく、貨物を内陸に持って行くインフラをもっと充実させて欲しい。
- ・ 内航船を利用し、京浜港の渋滞緩和に取り組んでいきたい。
- ・ 港のインフラ整備等の大規模工事では、具体的なコンテナ車両の待機列のルール化、迂回路の設定等きめ細かい配慮をお願いする。
- ・ CY内が混雑している。休日に一部ゲートオープンしていただいているが、休日を定常的にオープンしていただきたい。
- ・ 船社のアジアから日本へのダイレクト寄港に期待している。
- ・ 日本のコンテナ船事業者が1社に統合されたので、サービス、運賃等に注目している。



【意見交換会の開催状況】